

(51) Int. Cl. FI
G06Q G06Q ZIT

入賞希望 有 委員会の数5 (全54名)

(21) 出願番号 JIPAお願2018-000401 (P2018-000401)
(22) 出願日 平成30年4月1日 (2018. 4. 1)

(71) 出願人 特許第 1 委員会
東京都千代田区大手町2-6-1JIPA第 1 会議室
(72) 発明者 特許第 1 正副委員長

早期公開請求

(54) 【委員会の名称】 特許第 1 委員会

(57) 【要約】

【課題】 知的財産に関する諸制度の適正な活用及び改善を図り、もって会員の経営に資するとともに、健全なる技術の進歩及び我が国の産業の発展に寄与することを目的とする。

【解決手段】 実施形態の一例に係る特許第 1 委員会は、

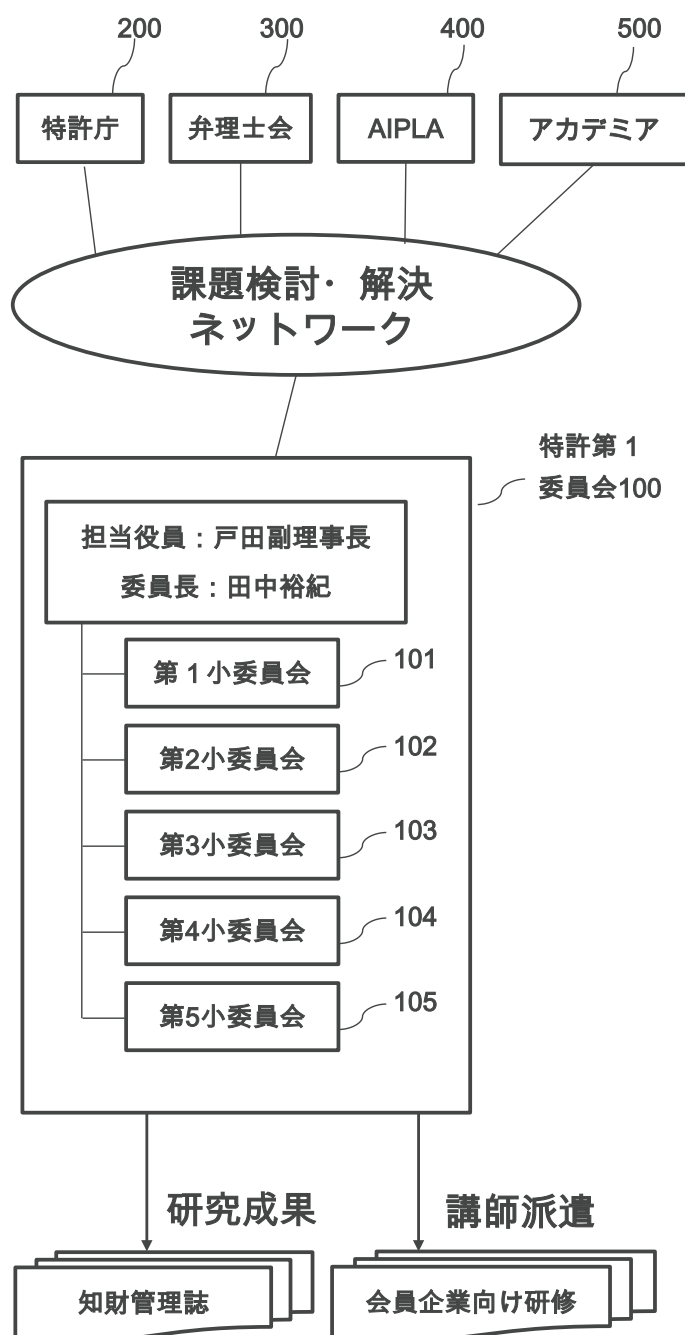
- ①主に特許制度ハーモナイゼーションに向けた研究を行う第 1 小委員会と、
- ②主に記載要件の研究を行う第 2 小委員会と、
- ③主に進歩性の研究を行う第 3 小委員会と、
- ④主に特許出願における諸問題の研究を行う第 4 小委員会と、
- ⑤主に審査過程における諸問題の研究を行う第 5 小委員会と、から構成され、

各企業の特許審査における悩みや疑問について研究することで得た知見を知財管理誌や会員企業向け研修で発信するとともに、

特許庁、弁理士会、アカデミア、AIPLA 等との意見交換等を通じて知財制度の最新の運用状況や実務上の課題をいち早く捉え、日本および 5 庁の審査品質の向上、ユーザが抱える問題の制度改革による改善提案 (パブリックコメントの提出、ユーザ要望の発信) 等を行うことを特徴とする委員会。

【選択図】 図 1

【図 1】



会員企業等への貢献

IoT関連技術に関する特許分類（ZIT）を活用した調査研究

ZIT特許分類が付与される案件ってどんなもの？



そもそも「IoT関連技術」って何だろう？
ZITを対象に検索して調査精度は大丈夫？

ZIT付与開始後に出願～登録された特許130件：

- ①公開公報と特許公報両方にZIT付与あり = 72件
 - ②公開公報のみZIT付与あり かつ 特許公報にZIT付与なし = 58件
- ⇒ZIT付与の基準・運用が定まっていないのでは？

実際にZIT付与された案件の記載内容を分析し、ZIT付与基準をより明確にできないか検討中

特許査定率は年々UP↑ 権利範囲は妥当？



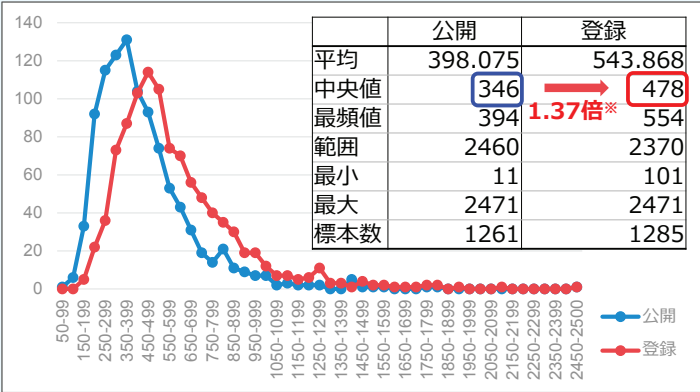
三極特許庁の審査比較 各国の特徴・違いは？



国内審査状況を分析中！

- Q. 進歩性の判断は妥当？
- Q. 権利範囲は適正？ …etc.

図：ZIT分野のクレーム長分析



※G06Qでは、1.57倍

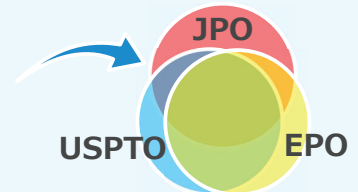
ZITの方が過度な補正をせずに登録されている？

→ 詳細分析中！！

ZITが付与された案件のファミリーを調査

引例拒絶（新規性/進歩性）の一致率

①日-米-欧	66.1%
②日-米	73.8%
③日-欧	73.7%
④米-欧	87.4%



● 一致率の状況

米-欧間での一致率は、日-米、日-欧間に比べ高い
→ 審査のハーモナイズが必要？

● 各国の特徴

日本：主体が不明確と指摘される案件が多い

米国：発明適格性(US101条)による拒絶が多い

欧州：非技術的特徴(Non-tech)認定は解消困難

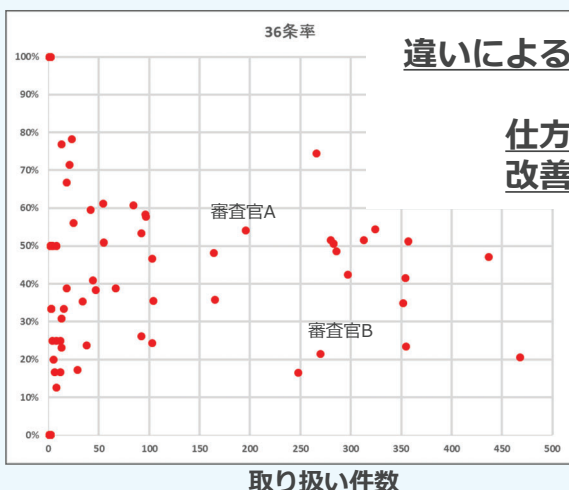
→ 個別案件に関するOA対応事例を詳細分析中！

記載要件

審査官によって記載要件拒絶の 通知量に違いはある？



はい。審査官によって大きく違います。



違いによる問題は？
原因は？
仕方がない？
改善できる？

図面に基づく補正

明細書の図面のみに基づいた補正は できる？



はい。審査段階でも、審判段階でも認められています。

審査・審判段階で判断の異なった案件について詳細を分析中！



認められることは稀です。

来年度分析予定。請うご期待！

拒絶査定不服審判・前置審査についても検討中。

(詳細は委員まで)